

阿波市全庁評価シート 平成24年度実施事業対象

PLAN	No.	6	1	基本事務事業名	庁舎建設事業	事務事業名	庁舎建設事業	公的関与	2	シート作成日	平成25年6月24日			
	部局名	総務部		課名	庁舎建設課	主務課長名	安丸学	シート作成者名	坂東謙					
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input checked="" type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(5) 自立・持続可能な地域経営の推進			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 17 年 ~ 平成 26 年		<input type="checkbox"/> 期間設定なし			
			主要施策		(2) 新庁舎の整備		<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民・職員										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	新庁舎を建設し、市民サービスの向上と行財政改革の推進、まちづくり及び防災の拠点形成を図ります。									
			今年度	新庁舎等の建設工事を円滑に進めるとともに、備品導入等に関する計画策定を行います。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 新庁舎等建設工事													
	② 各種備品等導入に関する計画													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標				
	進捗率		新庁舎完成を100%とし、その進捗状況を%で表します。		%		目標 30	70	80	100				
							実績 30	70						
							目標							
							実績							
							目標							
						実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	14	庁舎建設費
			平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金	10,815 千円		40,389 千円		千円							
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	75,000 千円		325,600 千円		2,532,200 千円							
		その他特定財源	千円		千円		200,000 千円							
		一般財源	16,276 千円		32,744 千円		145,870 千円							
		計(A)	102,091 千円		398,733 千円		2,878,070 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	4.000 人	24,178 千円	4.000 人	23,845 千円	4.000 人	23,526 千円						
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		126,269 千円		422,578 千円		2,901,596 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	庁舎の分散による非効率の解消や、まちづくり・防災の拠点形成は今後の行政運営に必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない		<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	新庁舎建設により、行政運営のロスを省き、市民にとっても利便性の高い庁舎とすることは、今後の行政運営、まちづくりにおいて有効です。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	平成24年度末における目標値を達成しています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	他の実施主体のノウハウ等を調査し、改善を加えることで、よりコスト削減につながる手法を検討します。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない		<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない		<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない			
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		3	4	3	2	B	3	4	3	2	B		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
当面の課題	平成26年度末までの供用開始を目標としているため、建設工事を円滑に進めるとともに、備品導入等の計画を速やかに策定する必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	市民の利便性を最優先に考えた上で、建設後の財政負担の軽減を考慮した庁舎の建設を推進します。					「市民のための庁舎」ということを第一に考えて、目標年次である平成26年度末までの供用開始に向け、事業を推進してください。							
委員会指摘事項													